
刃の下に

鬼神

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

刃の下に

【Zコード】

Z0807F

【作者名】

鬼神

【あらすじ】

死見館に招待された10人の高校生たちが、次々と殺されていき、兄の付き添いとして来ていた桜庭翔大が殺人劇に挑む。

FILEO・弦き（前書き）

本作が初の小説です。誤字・脱字・意味不明な部分が出てくるかも
しませんが温かい目で読んでくれれば幸いです。

砂浜の波打ち際に独り、人が立っている。そいつは言った。

「復讐してやる」と。

そいつは続けた。

「あいつらに。朱璃^{あかり}を見殺しにしたあいつらに。あの館で・・・」

「そいつは見つめた。海に浮かぶ一点の島を。“あの館”が建つ島を。そいつは当てもなく彷徨つた。ただ、「復讐する」と呟きながら・・・

「気が付くとそいつは砂浜から離れ、闇に包まれた住宅街に立っていた。
一つの家を見つめて小さく呟いた。しかしその呟きは迫力に満ちていた。

「秀樹、お前だけは許さない。大切なものを亡くす哀しみを味わわせてから必ず・・・・殺す」

そいつは今度はしっかりと足取りで住宅街を離れた。

計画が始まった

FILE1・招待状

FILE1・招待状

桜庭翔大は何か強い衝撃が来たことによつて目を覚ました。

「んつ！何すんだよ！」

起きて自分の上を見ると、たつぱり中身の詰まつていそうな旅行用のバッグが置いてあつた。

衝撃の正体はこれの様だ。そしてバッグを投げたのは我が憎き兄、直希だ。

「今から出かけるぞ。お前の分まで荷造りしといたんだから感謝しろよ！」

「はつ？出かける？そんなの聞いてねえよ。」

時計を見たらまだAM4：00である。

「つるさい！さつさと着替える。」

「はあ～。」

「こうなつたら兄は聞く耳を持たない。」

「・・・そういうえば父さん、母さんは？」

「俺たちとは別の旅行だ。しかも10泊11日。」

なんと身勝手な両親だ。いくらなんでも息子に何も言わず旅行に行くか？

「ほれつ、さつさと着替える。」

「ういーっす。」

「そりいえば兄貴、どこ行くんだ？」

着替え終わつて今は移動中。車の中である。

「無生人島の死見館だ。」

「生きる人のいない島の死を見る館か。グロいな。何でそんな所行

くんだよ?」

「招待状が来たんだ。高校の小説研究会に。しかも名前指定で、1枚。」

そういうと兄貴は招待状を見てくれた。封筒には“小説研究会 桜庭直希様へ”と書かれている。

招待状

桜庭 直希様へ

せん。

この度は突然こんな招待状をお送り、申し訳ございま

あなたは覚えておいででしょうか?2年前のあの事を。覚えていないなら残念です。

あなたは彼女のこと忘れているのだから。

私はあなたを許さない。絶対に。朱璃^{あかり}の敵は私が討つ。

短い文でそう書いてあった。

「ねえ、この朱璃つて誰？」

「丹波朱璃は小説研究会の元部長だ。」

「元？」

「ああ。亡くなつたんだ。部屋でな。首を吊つての窒息死だつた。」「自殺つてこと?」

「アーティスト」

・ 多分な たけど、あれは俺たちが殺したよ、なもんなんだ。

卷之三

それつきり兄貴は黙りこくれてしまつた。見ると運転はしているものの、顔色は悪く若干下を向いている。俺はそれ以上は聞かないことにした。

沈黙が続き數十分。兄貴がようやく口を開いた。

卷之三

そこは泊めた。只貴は地図の上に船を見ながら、
かつて、歩いていく。

「無生ノ島に行つたことあるの？」

「まあ、過去の話は終わりにして行こうか。名前

適だぞ。死見館は。」

そこで俺たちは出発した

殺人劇の幕が上がつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0807f/>

刃の下に

2010年10月28日03時05分発行